

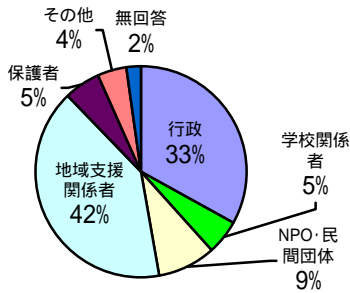
第3回全国家庭教育支援研究協議会

震災を超えて 今あなたにできること、みんなにできること ～ 社会全体で子どもたちを育むために～

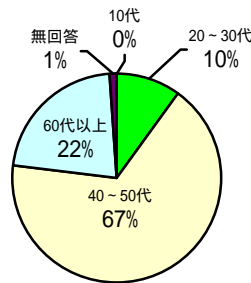
アンケート結果

日時:平成24年2月12日 場所:仙台国際センター

1 所属

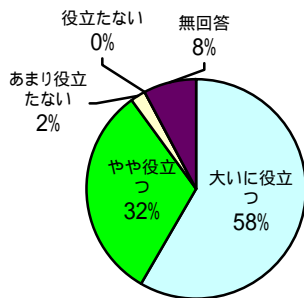


2 年代



3 本研究協議会の内容について

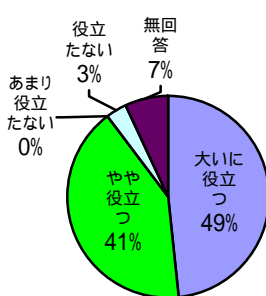
(1) 基調講演の内容は、家庭や地域、学校等での活動や課題解決に役立つと思いましたが、



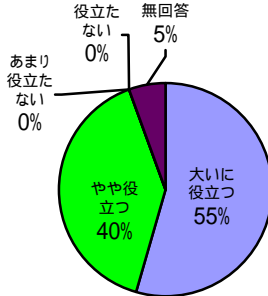
(2) 分科会の内容は、家庭や地域、学校等での活動は課題解決に役立つと思いましたが、

< 午前の部 >

分科会
子どもの学びを支える学校を核としたコミュニティづくり

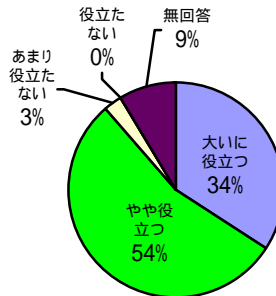


分科会
親子の安心と育ちを応援する家庭教育支援

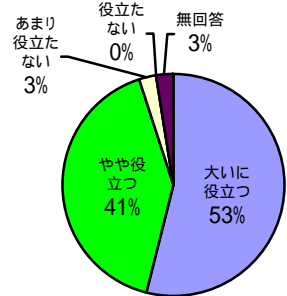


< 午後の部 >

分科会
子どもを育むコミュニティの担い手のネットワーク



分科会
親子の心とケアとまわりのサポート



(3) 本研究協議会で感じたことを自由にお書きください。

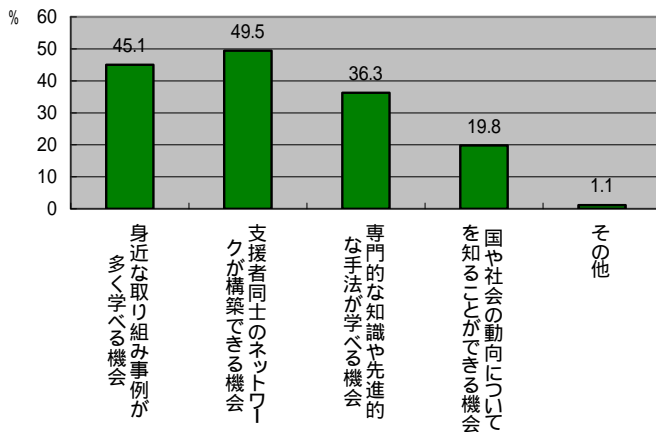
- 家庭教育には正解はないと考える。しかし親世代が核家族、多様化社会のなかで育まれている以上、本来祖父から父へそして子へ伝えるべき事は、代わりに誰かがしなければならないことが多いと思う。震災を機に地域の繋がりが見直されている今、会の意義は大きいものになると考える。
- この時代、震災の有無に関係なく、地域や社会全体で育てる事が必要であると非常に感じている。子供の学びや育ちの中で、様々な関わりが子供の豊かな成長や社会性への実現に繋がると感じた。
- 被災地や支援されている方々から、真剣に生きること、真に子育てに大切な取り組みや支援のあり方をたくさんの感動をもって学ばせて頂きました。本当に参加させて頂いて良かったです。
- 学校と地域のつながりが出来ていたところは避難所としての機能・流れがスムーズだったとの事例を聞き、学校が地域の拠点となり日ごろから交流を持ち地域を育むことで、子どもを育むことにつながって行くことを感じた。
- 今の活動は 10 年後、20 年後の結果として出てくることなのではないかと感じました。小学生の

ころから、地域に困ったときに助けてくれる人がいると感じて育つことで今の子どもたちが大人になったとき、結果として出てくることだと思います。だからこそ、今やっていることを継続して行われること、全国へ広がることを期待します。

- つながること・・・行政の中で医療、福祉、教育がつながって子育て、家庭教育支援をしていけるように、と改めて強く感じました。その他多くのことを学ばせていただきました。
- 基調講演にもあったように震災で受けた心の傷が身体の成長を止まらせてしまう程の経験をした子どもたち。地域がどのように関わり育てていくかを興味深く拝聴しました。地域に戻ってアクションをおこすエネルギーをいただきました。
- 人との繋がりが大切なことは十分理解しながら、具体化にむけてどのようにしていけば良いのか。今回はその参考に沢山の事例を頂きました。ボランティア精神・熱意が形になると感じます。
- 子どもというと小学生や中学生までのような話で進んでいたが、分科会で「18才まで」というご発言があり高校生の育ち、高校生を持つ親の支援についても考えなければならぬと感じた。
- それぞれの事例が本当にすばらしく、多くの学びを得ました。内田先生の話は想像力＝生きる力、共有型がどの様に子ども延ばすか良くわかりました。できれば支援チームの方々との交流が出来る分科会 or 交流会があると良い。
- 日ごろの学校・家庭・地域の連携・むすびつきを継続的につくっていく仕組みが重要であると改めて強く感じました。
- 子どもへの心のケアをみんなで耳を傾けて信頼関係を築くことで支えていくことの大切さを感じました。共有することの大切さこれらの子育てにいかしていきたいと感じます。
- 実際に被災した地域での支援チームですが、参考になり又活動の幅の広さに勉強になりました。
- 国が主導する社会教育事業が地域の絆づくりにいかに有効であったかという点に論点を絞ってもよかったのではないかと。
- 基調講演・分科会とも、たいへん勉強になりました。既に中3の子を持つ身としては、もっと早く聞きたかったとも思いますが... 今回のお話のような情報を私のような催しに参加しにくい働く親にも届くようにしていただけるよう各団体さん、行政の方をお願いしたいと思います。
- 長崎県のとりくみがとても感動でしたし、とても学べるところがありました。子どもを取り巻く行政が連携を通り越して1つにまとまったところ、ファシリテーター養成講座で100人はすごいと思いました。陸前高田市でも『人材育成』が課題だと聞きます。一関もそうです。

4 今後の希望について

(1) 今後開催するとしたら、どのような研究会を希望しますか。



(2) どのようなテーマがよいと思いますか。ご自由にお書きください。

- 本日のテーマになったように想像・創造力、真の生きる力、子どもの実体験の充実と市民ぐるみの子育てや教育を進めるよう、教育振興計画や学習指導要領の今後の改善を見すえて、家族教育支援の根本目的と有効な施策と将来展望をテーマにしてほしい。
- 学校、教育的立場と保育の立場の共働へ向けて、現場がつながるテーマ、行動が伴うテーマなど
- 中心街・街中の家庭教育 / 過疎地域の家庭教育では大きな違いがあると思われるので、違いやそれぞれの問題点・改善策にスポットを当てたテーマ等。
- 教育（文科省）と福祉（厚労省）が連携協力した家庭教育支援
- 震災関連で、毎年しばらくは継続してほしい。被災地を支える～親と子を共に支えるために～
- 地域を支えるリーダーたちがどんな教育をうけ体験してきたのか。社会に役立つ人材育成と学習教育との関連性なども知りたい。
- 子育てができていてそれに関わっている大人（親）も育っている内容、子ども大人の協働。